

里山砂防ワークショップだより

平成21年11月28日(土)に、
市之倉小学校PTAの方々や地域の方々により、
やすらぎの森の整備(枯損木の除去等)が行われました。



これまでの2回のワークショップのなかで、最も地域の要望の高かった「安全で楽しめる森とするために、林内の枯損木を除去してほしい」を受けて、多治見砂防国道事務所において、里山砂防事業の一環として、アカマツの立ち枯れ木の伐採、玉切り、搬出を行いました。また、これまでの整備で伐採された後、残されていた木についても搬出を行いました(ともに10月20~30日実施)。



ワークショップでの要望に早速対応したことにより、「子どもたちが安心して遊べるようになった」と市之倉小学校よりコメントをいただきました。



11月28日(土)には、土岐川流域グリーンベルトの一環として、市之倉小学校が利用している範囲を中心に、「市之倉小学校PTAのみなさんによる一斉整備」が行われました。

当日は、小学校PTAのみなさんに加え、ワークショップで意見をいただいた、市之倉地区で樹林整備に取り組む「おりべの森部会」「筒小屋の森部会」のメンバーの方々20名が加わり、昨年よりも多い総勢100名の方が参加されました。





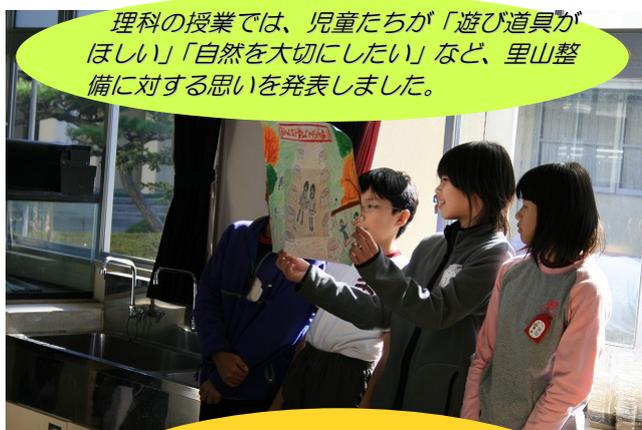
平成21年12月2日(水)に、 里山砂防事業を実施している多治見市「やすらぎの森」を 「日韓土砂災害防止技術交流会議」が現地視察しました。



日韓土砂災害防止技術交流会議(※)の取り組みの一環として、韓国山林庁の技術者6名が、里山砂防事業および土砂川流域グリーンベルト整備事業により、土砂災害から地域を守る里山として樹林整備を進めている「やすらぎの森」の現地視察を行いました。

当日は、市之倉小学校6年生の理科の授業「やすらぎの森について考えよう」に加わり、児童たちと意見交換を行いました。さらに意見交換後は、児童とともに森に入り、やすらぎの森で特に問題となっている“マツ枯れの進行状況”および“里山砂防事業の実施状況や一斉整備の成果”を視察しました。また、児童たちと給食をとりながら、交流を深めました。

※ **日韓土砂災害防止技術交流会議**：日本と大韓民国の土砂災害対策に関する取り組みの最新動向について大韓民国林野庁との間で情報交換および意見交換を行い、今後の両国の砂防行政・技術研究開発に資することを目的として設置されたものです。(平成13年より、両国で交互に開催)



理科の授業では、児童たちが「遊び道具がほしい」「自然を大切にしたい」など、里山整備に対する思いを発表しました。

地域と行政による「里山砂防事業」の取り組みは、全国的にみても、まだ始まったばかりです。

今回の視察は、新聞に取り上げられるなどし、事業を地域の方々に広く知っていただくよい機会となりました。



韓国山林庁の技術者からは、「樹木の管理は地球温暖化防止にもつながる。これからも大切にしてほしい」との意見をいただきました。



国土交通省 中部地方整備局 多治見砂防国道事務所

〒507-0023

岐阜県多治見市小田町 4-8-6

工務第一課

TEL：0572-25-8020(代表)

FAX：0572-25-7994

URL：http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/

E-mail：tajimi@cbr.mlit.go.jp

